

千葉ロッテマリーンズ・大塚明コーチインタビュー

コーチになってきっかけを教えてください。

きっかけは球団からの要請です。戦力外が突然やってきてそれと同時にコーチ要請を受けました。

プロ野球選手のコーチの楽しいところを教えてください。

指導者というのは選手の成長を感じた時に幸せをかんじます。子供を育てることと変わりません。

アマチュアのコーチと比べたらもっと難しいこと、あるいは簡単なことがありますか。

プロは大人を教えるので共通なイメージ、価値観を共有しやすいので説明がアマチュアより容易です。しかしながら、プロであろうとアマチュアであろうとティーチングが大事なことは変わりません。

マリーンズのコーチの中で大塚さんが一番若いですね。同じ年や年上の選手がいますか。大塚さんが言うことを聞きますか。

言うことを聞かせるという意味がよくわかりませんが、チームの勝利のためにお互い力を合わせてがんばっていますし、彼らもそのために一生懸命がんばってくれます。

外野手コーチの仕事を説明してください。例えば、合がある日には選手にどんな練習をさせますか。

外野手コーチとして、選手個々のによって異なります。レギュラーとして毎日試合に出てる選手は調整でいいでしょう。しかしたまにしか試合に出ない選手はそれなりにハードに追い込みます。ノックを打ったり、バッティング練習の打球を追いかけさせます。

キャンプの練習は特別ですか。秋季キャンプの練習と春季キャンプの練習が違いますか。

秋のキャンプは基本的にその年の反省点を重点的に鍛えます。極論すれば故障すれすれの限界まで追い込みます。春のキャンプは怪我をされては困るので秋よりは軽めです。しかしながら一年を戦うための体力づくりはします。

走塁コーチの仕事を説明してください。もし難しいところがあれば教えてください。

走塁に必要なことは打球判断、状況判断です。打球判断は瞬間的判断を意味し、状況判断は点差、イニング、次打者、敵の守備位置…などを事前に考えておくという作業を意味します。生活の中でも日ごろは大丈夫なことでも、そつでない日もあるということと同じ解釈です。

今シーズンから二軍コーチに配置転換ですね。一般的には、二軍の選手は一軍の選手に比べて何が足りますか。持久力とか、メンタルとかですか。

ずばりメンタルです。心のあり方がすべてのような気がします。

チームはどんな雰囲気ですか。

チームの雰囲気は日々変化します。ただ、毎日試合が行われるシーズンもそうですが、過去を引きずっては何もうまいきません。とにかく前を向くだけです。

試合後、選手にご馳走したことはありますか。

コーチと選手は基本的には距離を置きます。個人的にはありませんが、監督など含めて大人数ではあります。

角中勝也選手は WBC 日本代表候補メンバーに選ばれましたね。何かアドバイスがありますか。

失敗を恐れず自分のためにだけに野球をやってほしい。国を背負うとか余計なことは意識せず。とにかく楽しんでほしいです。

オフシーズン、どうやって過ごしてますか。

体を鍛えて、本を読んだり、野球の研究、一年を振りかえり…などでしょうか。

今シーズンの目的があれば教えてください。

目標でしょうか？選手個々に決めています、それをぶれずにやるだけです。チームの勝利を目指してがんばります。

どうもありがとうございました。